

ABSTRACT ATTACHED

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-11865

(43)公開日 平成8年(1996)1月18日

(51)Int.Cl.
B 65 D 5/355
21/08

識別記号 庁内整理番号

P I

技術表示箇所

B 65 D 5/42

H

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L (全8頁)

(21)出願番号 特願平6-152040

(71)出願人 000002174

(22)出願日 平成6年(1994)7月4日

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 山野 浩市

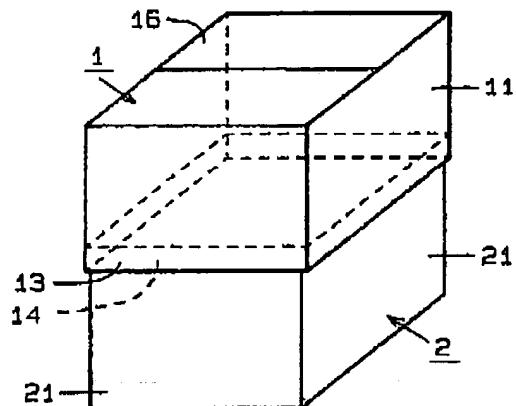
兵庫県三田市上井沢201-1

(54)【発明の名称】 梱包用箱

(37)【要約】

【目的】 収納する物品の高さに応じて高さを変えることのできる梱包用箱を提供する。

【構成】 下方に開口する蓋箱1と上方に開口する箱本体2とを備え、蓋箱1及び箱本体2のいずれか一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の開口部周辺の側壁外面及び他方の開口部の側壁内面のいずれか一方に両面粘着テープ14が貼付けられている。



(2)

特開平8-11865

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体のいずれか一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の開口部周辺の側壁外面及び他方の開口部の側壁内面のいずれか一方に両面粘着テープが貼付けられていることを特徴とする梱包用箱。

【請求項2】 下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にストッパー環体が嵌合され、ストッパー環体は側壁に深さ方向に沿って摺動可能に突設されていることを特徴とする梱包用箱。

【請求項3】 下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方に鋸歯状凸部が側壁の深さ方向に沿って突設され、他方に鋸歯状凸部と係合する爪が突設されていることを特徴とする梱包用箱。

【請求項4】 下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にループを備えた面ファスナーが設けられ、他方にループを備えた面ファスナーと係合する鈎を備えた面ファスナーが設けられ、ループを備えた面ファスナー及び鈎を備えた面ファスナーのいずれか一方は側壁の深さ方向に沿って設けられていることを特徴とする梱包用箱。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、梱包用箱に関し、特に収納する物品の大きさに対応できるように配慮したものである。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば、実公昭61-29609号公報、実公昭61-29812号公報、実公昭62-9217号公報等に記載されているように、高さの高い状態からその高さの半分程度の低い状態に容易に変更できる段ボール製梱包用箱が知られている。

【0003】このような梱包用箱においては、運搬用に使用する際には多くのものを運搬できるように、その高さを高くし、保管用として使用する場合には、棚等に安定して載置保管できるようにその高さを半分程度の低い状態にできるようにしたものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、現上の従来の梱包用箱においては、その高さは高い状態と、その半分程度の低い状態の2通りの高さにできるものに過ぎ

2

ぎず、収納する物の高さに合わせて高さを変えることができるものではない。

【0005】従って、従来の梱包用箱においては、収納する物品の高さに応じて夫々適合する梱包用箱が必要であり、不経済であった。仮に、収納する物品の高さよりも大型の梱包用箱を使用する場合には、梱包用箱内に空隙が存在するので、梱包用箱同士を重ねたときに、梱包用箱が変形し、最悪の場合には梱包用箱が損傷することになり、梱包の役目を果たさない。本発明は、従来の梱包用箱における現上のような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、上記の問題を解決し、収納する物品の高さに応じて高さを変えることできる梱包用箱を提供するにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、請求項1記載の本発明梱包用箱は、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体のいずれか一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方に両面粘着テープが貼付けられていることを特徴とするものである。

【0007】又、請求項2記載の本発明梱包用箱は、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にストッパー環体が嵌合され、ストッパー環体は側壁に深さ方向に沿って摺動可能に突設されていることを特徴とするものである。

【0008】又、請求項3記載の本発明梱包用箱は、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方に鋸歯状凸部が側壁の深さ方向に沿って突設され、他方に鋸歯状凸部と係合する爪が突設されていることを特徴とするものである。

【0009】又、請求項4記載の本発明梱包用箱は、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にループを備えた面ファスナーが設けられ、他方にループを備えた面ファスナーと係合する鈎を備えた面ファスナーが設けられ、ループを備えた面ファスナー及び鈎を備えた面ファスナーのいずれか一方は側壁の深さ方向に沿って設けられていることを特徴とするものである。

【0010】請求項1～4記載の本発明において、蓋箱及び箱本体の材質は、特に限定されるものではないが、例えば、段ボール、木材、発泡スチロール樹脂等の梱包材料が使用できる。

(3)

特開平8-11865

3

【0011】請求項2記載の本発明において、ストッパー環体の材質は、特に限定されるものではないが、例えば、段ボール、木材、発泡スチロール等が使用できる。請求項3記載の本発明において、鋸歯状凸部及び爪の材質としては、特に限定されるものではないが、例えば、ポリエチレン、ポリプロピレン、スチロール樹脂、ナイロン、A B S樹脂等の合成樹脂が使用できる。

【0012】

【作用】請求項1記載の本発明帽包用箱においては、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の開口部周辺の側壁外面及び他方の開口部の側壁内面のいずれか一方に両面粘着テープが貼付けられているので、収納する物品の大きさに応じて蓋箱及び箱本体の一方の開口部を他方の開口部内に深さ方向にスライド嵌合させることにより収納する物品の大きさに適合した大きさとし、両面粘着テープにより貼付けて梱包することができる。

【0013】又、請求項2記載の本発明帽包用箱においては、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にストッパー環体が嵌合され、ストッパー環体は側壁の深さ方向に沿って摺動可能に突設されているので、ストッパー環体が嵌合された側壁において、収納する物品の大きさに応じた位置にストッパー環体を取付固定し、このストッパー環体に他方の開口部を固定することにより梱包することができる。

【0014】又、請求項3記載の本発明帽包用箱においては、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面の少なくともいずれか一方に鋸歯状凸部が壁面の深さ方向に沿って突設され、他方に鋸歯状凸部と係合する爪が突設されているので、爪が突設された側壁を移動させて収納する物品の大きさに応じた位置において爪を鋸歯状凸部に係合させて固定し、封緘することにより梱包することができる。

【0015】又、請求項4記載の本発明帽包用箱においては、下方に開口する蓋箱と上方に開口する箱本体とを備え、蓋箱及び箱本体の一方の開口部が他方の開口部内に深さ方向にスライド可能に嵌合され、一方の側壁外面及び他方の側壁内面のいずれか一方にループを備えた面ファスナーが設けられ、他方にループを備えた面ファスナーと係合する鉤を備えた面ファスナーが設けられ、ループを備えた面ファスナー及び鉤を備えた面ファスナーのいずれか一方は側壁の深さ方向に沿って設けられているので、収納する物品の大きさに応じて蓋箱及び箱本体の一方の開口部を他方の開口部内に深さ方向にスライド嵌

4

合させることにより収納する物品の大きさに適合した大きさとし、ループを備えた面ファスナーに鉤を備えた面ファスナーを取付けることにより蓋箱及び箱本体を固定し、梱包することができる。

【0016】

【実施例】次に本発明の実施例を図により説明する。

【実施例1：請求項1記載の発明の実施例】図1は本発明帽包用箱の一例を示す斜視図である。図1において、1は段ボール製蓋箱であり、蓋箱1は図2に示すよう

に、下方に開口された直方体状の箱形であり、下方開口部周辺の側壁1 1間の境界部には切り目1 2が設けられ、各側壁1 1の下端部1 3は外側方に折曲でき、その内面には両面粘着テープ1 4が貼付けられている。2は段ボール製箱本体であり、箱本体2は図3に示すよう

に、上方に開口された直方体状の箱形であり、箱本体2

の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内に深さ方向に摺動可能とされて

いる。

【0017】次に、蓋箱1の製作態様を図4について説明する。図4は蓋箱1を展開した状態を示す平面図であり、蓋箱1は図4に示すように、段ボールに設けられた折れ線1 1 1において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分1 5を他端にステイブラー（ホッチキス）により取付け、各側壁1 1の下端部1 3の裏面に両面粘着テープ1 4を貼付け、各側壁1 1の上端部に延設される天板部1 6間の境界部に切り目1 1 3を設けると共に折れ線1 1 2において折曲して相互にステイブラー（ホッチキス）により取付けける。

【0018】次に、箱本体2の製作態様を図5について説明する。図5は箱本体2を展開した状態を示す平面図であり、箱本体2は図5に示すように、段ボールに設けられた折れ線2 1 1において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分2 5を他端にステイブラー（ホッチキス）により取付け、各側壁2 1の下端部に延設される底板部2 3間の境界部に切り目2 1 3を設けると共に底板部2 3を折れ線2 1 2において折曲して相互にステイブラー（ホッチキス）により取付けける。

【0019】【実施例1の作用】次に、図1に示す本発明帽包用箱の作用について説明する。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内に深さ方向に摺動可能とされているので、収納しようとする物品（図示しない）の大きさに対応して蓋箱1を摺動し、両面粘着テープ1 4により蓋箱1の下端部1 3を箱本体2の側壁2 1に貼付けることにより梱包することができる。

【0020】【実施例2：請求項2記載の発明の実施例】図6は本発明帽包用箱の他の一例を示す斜視図である。図6において、1は段ボール製蓋箱であり、蓋箱1は図7に示すように、下方に開口された直方体状の箱形である。2は段ボール製箱本体であり、箱本体2は図8

50

(4)

特開平8-11865

5

に示すように、上方に開口された直方体状の箱形であり、箱本体2の側壁21の外面には段ボール製のストッパー環体22が嵌合され、ストッパー環体22は箱本体2の側壁21の外面において摺動可能に突設され、ストッパー環体22の裏面に設けられた両面粘着テープ222により箱本体2の側壁21の外面に仮付けされている。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされている。

【0021】次に、蓋箱1の製作態様を図9について説明する。図9は蓋箱1を展開した状態を示す平面図であり、蓋箱1は図9に示すように、段ボールに設けられた折れ線111において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分115を他端にステイブラー(ホッチキス)により取付け、各側壁11の上端部に延設された天板部16間の境界部に切り目113を設けると共に天板部16を折れ線112において折曲して相互にステイブラー(ホッチキス)により取付ける。

【0022】次に、箱本体2の製作態様を図10について説明する。図10は箱本体2を展開した状態を示す平面図であり、箱本体2は図10に示すように、段ボールに設けられた折れ線211において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分215を他端にステイブラー(ホッチキス)により取付け、各側壁21の下端部に延設された底板部23間の境界部に切り目213を設けると共に底板部23を折れ線212において折曲して相互にステイブラー(ホッチキス)により取付ける。図11はストッパー環体22を展開した状態を示す平面図であり、図11に示すように帯状段ボールに設けられた折れ線221において折曲することにより四角筒状とし、裏面に両面粘着テープ222を貼付ける。

【0023】【実施例2の作用】箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされ、箱本体2の側壁21の外面にストッパー環体22が仮止めされているので、収納しようとする物品(図示しない)の大きさに対応して蓋箱1を摺動すると共に、ストッパー環体22を箱本体2の側壁21の外面上を移動させて蓋箱1の下端縁に当接する位置においてストッパー環体22を両面粘着テープ222により箱本体2の側壁21の外面上に貼付けて固定する。蓋箱1の下端縁とストッパー環体22との接合部を粘着テープ3を貼付けて封緘することにより収納された物品を梱包することができる。

【0024】【実施例3:請求項3記載の発明の実施例】図12は本発明梱包用箱の更に他の一例を示す斜視図である。図12において、1は段ボール製蓋箱であり、蓋箱1は図13に示すように、下方に開口された直方体状の箱形である。蓋箱1の下方開口部付近の側壁11の内面には爪17が突設されている。

【0025】2は段ボール製箱本体であり、箱本体2は

6

図14に示すように、上方に開口された直方体状の箱形であり、箱本体2の相対する一対の側壁21の外面の両側部には一対の鋸歯状凸部24が深さ方向に沿って突設されている。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされ、図15に拡大して示すように、鋸歯状凸部24は蓋箱1の爪17と係合されている。

【0026】次に、蓋箱1の製作態様を図16について説明する。図16は蓋箱1を展開した状態を示す平面図であり、蓋箱1は図18に示すように、段ボールに設けられた折れ線111において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分115を他端にステイブラー(ホッチキス)により取付け、各側壁11の上端部に延設された天板部16間の境界部に切り目113を設けると共に天板部16を折れ線112において折曲して相互にステイブラー(ホッチキス)により取付ける。各側壁11の内に相互に離れた一対の側壁11の裏面に爪17を突設する。

【0027】次に、箱本体2の製作態様を図17について説明する。図17は箱本体2を展開した状態を示す平面図であり、箱本体2は図16に示すように、段ボールに設けられた折れ線211において折曲して四角筒状とし、一端に設けられた接合部分215を他端にステイブラー(ホッチキス)により取付け、各側壁21の下端部に延設された底板部23間の境界部に切り目213を設けると共に底板部23を折れ線212において折曲して相互にステイブラー(ホッチキス)により取付ける。各側壁21の内に相互に離れた一対の側壁21の裏面に爪17を突設する。

【0028】【実施例3の作用】次に、図12に示す本発明梱包用箱の作用について説明する。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされ、蓋箱1の側壁11の内面に突設された爪17が突設され、爪17が箱本体2の側壁21の外面に突設された鋸歯状凸部24に係合されているので、収納しようとする物品(図示しない)の大きさに対応して蓋箱1を深さ方向に摺動し、爪17をより鋸歯状凸部24間の谷間に係合させることにより蓋箱1を箱本体1に対して固定でき、蓋箱1の下端部と箱本体2の接合部の上から粘着テープ3により封緘することにより梱包することができる。

【0029】【実施例4:請求項4記載の発明の実施例】図18は本発明梱包用箱の更に他の一例を示す斜視図である。図18に示す本発明梱包用箱においては、蓋箱1は図19に示すように、蓋箱1の下方開口部付近の側壁11の内面には钩が突設された面ファスナー18が貼付けられ、箱本体2は図20に示すように、箱本体2の相対する一対の側壁21の外面の両側部には一対のループを備えた面ファスナー25が深さ方向に沿って貼付けられている。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口

50

(5)

特開平8-11865

7

部内に挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされ、図21に拡大して示すように、鈎が突設された面ファスナー18とループを備えた面ファスナー26とが貼付いている。

【0030】【実施例4の作用】次に、図17に示す本発明梱包用箱の作用について説明する。箱本体2の上端開口部は蓋箱1の開口部内で挿入嵌合され、箱本体2は蓋箱1の開口部内で深さ方向に摺動可能とされているので、収納しようとする物品（図示しない）の大きさに対応して蓋箱1を深さ方向に摺動し、蓋箱1の側壁11の内面に貼付けられた鈎が突設された面ファスナー18と箱本体2の側壁21の外面に貼付けられたループを備えた面ファスナー26とを貼付けることにより蓋箱1を箱本体1に対して固定でき、蓋箱1の下端部と箱本体2の接合部の上から粘着テープ3により封緘することにより梱包することができる。

【0031】以上、本発明の実施例を図により説明したが、本発明の具体的構成は図示の実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更は本発明に含まれる。例えば、図1に示す実施例のように蓋箱1の内方に箱本体2が挿入される代わり蓋箱1が箱本体2の内方に挿入されていてもよい。又、図1に示す実施例のように蓋箱1の内方に両面粘着テープ14が設けられる代わりに箱本体2の外間に両面粘着テープが設けられていてもよい。

【0032】

【発明の効果】請求項1記載の本発明梱包用箱においては、収納する物品の大きさに応じて蓋箱及び箱本体の一方の開口部を他方の開口部内に深さ方向にスライド嵌合させることにより収納する物品の大きさに適合した大きさとし、両面粘着テープにより貼付けて梱包することができる。

【0033】又、請求項2記載の本発明梱包用箱においては、ストッパー環体が嵌合された側壁において、収納する物品の大きさに応じた位置にストッパー環体を取付固定し、このストッパー環体に他方の開口部を固定することにより梱包することができる。

【0034】又、請求項3記載の本発明梱包用箱においては、爪が突設された側壁を移動させて収納する物品の大きさに応じた位置において爪を鋸歯状凸部間の谷間に係合させて固定し、封緘することにより梱包することができる。

【0035】又、請求項4記載の本発明梱包用箱においては、収納する物品の大きさに応じて蓋箱及び箱本体の一方の開口部を他方の開口部内に深さ方向にスライド嵌合させることにより収納する物品の大きさに適合した大きさとし、ループを備えた面ファスナーに鈎を備えた面ファスナーを取付けることにより蓋箱及び箱本体を固定し、梱包することができる。従って、請求項1～4記載

8

の本発明においては、収納する物品の大きさに対応して一々大きさの異なる梱包用箱を用意する必要がなく、1種類の梱包用箱が間に合うので経済的である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明梱包用箱の一例を示す斜視図。

【図2】図1に示す本発明梱包用箱の蓋箱のみを示す斜視図。

【図3】図1に示す本発明梱包用箱の箱本体のみを示す斜視図。

10 【図4】図2に示す蓋箱を展開した状態を示す平面図。

【図5】図3に示す箱本体を展開した状態を示す平面図。

【図6】本発明梱包用箱の他の一例を示す斜視図。

【図7】図6に示す本発明梱包用箱の蓋箱のみを示す斜視図。

【図8】図6に示す本発明梱包用箱の箱本体のみを示す斜視図。

【図9】図7に示す蓋箱を展開した状態を示す平面図。

20 【図10】図8に示す箱本体を展開した状態を示す平面図。

【図11】ストッパー環体を展開した状態を示す平面図。

【図12】本発明梱包用箱の更に他の一例を示す斜視図。

【図13】図12に示す本発明梱包用箱の蓋箱のみを示す斜視図。

【図14】図12に示す本発明梱包用箱の箱本体のみを示す斜視図。

【図15】鋸歯状凸部と爪との係合を示す拡大説明図。

30 【図16】図13に示す蓋箱を展開した状態を示す平面図。

【図17】図14に示す箱本体を展開した状態を示す平面図。

【図18】本発明梱包用箱の更に他の一例を示す斜視図。

【図19】図18に示す本発明梱包用箱の蓋箱のみを示す斜視図。

【図20】図18に示す本発明梱包用箱の箱本体のみを示す斜視図。

40 【図21】鈎を備えた面ファスナーとループを備えた面ファスナーとの貼付き状態を示す拡大説明図。

【符号の説明】

1 蓋箱

11 側壁

14 両面粘着テープ

2 箱本体

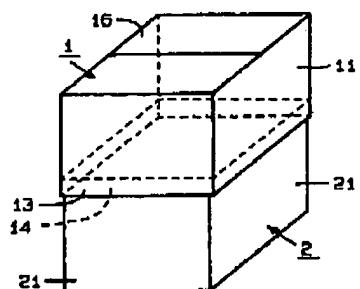
21 側壁

3 粘着テープ

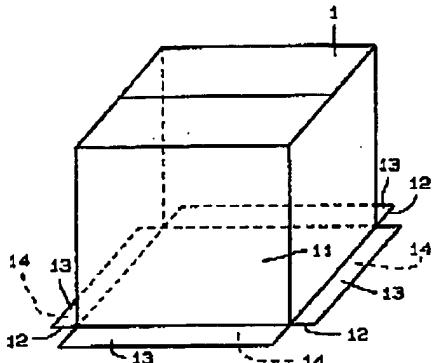
(6)

特開平8-11865

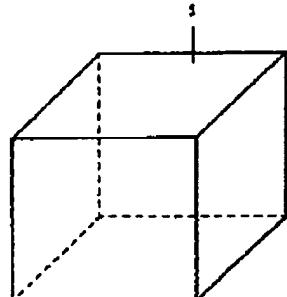
【図1】



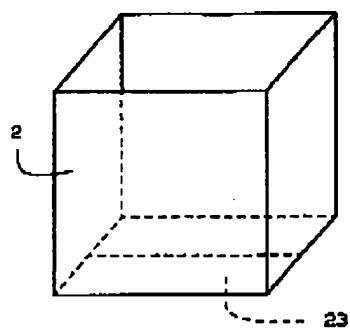
【図2】



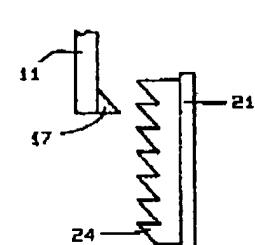
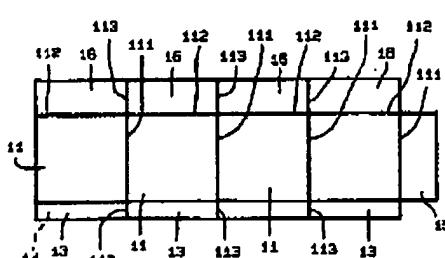
【図7】



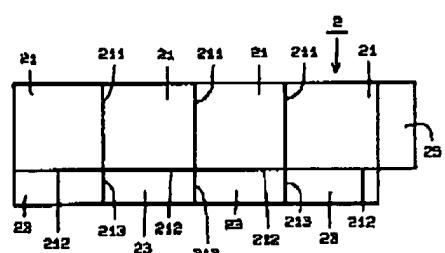
【図3】



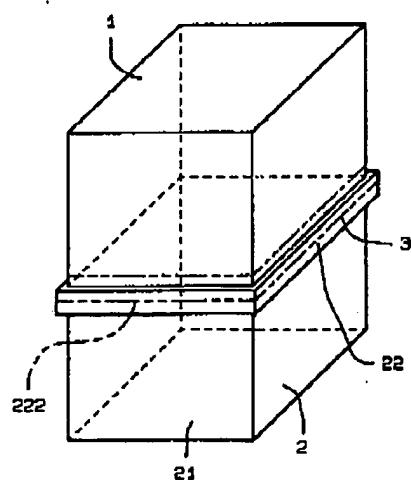
【図4】



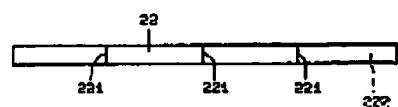
【図5】



【図6】



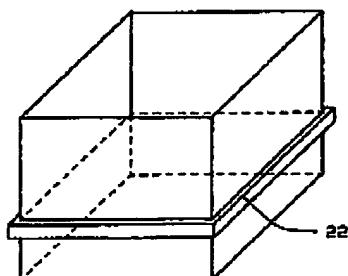
【図11】



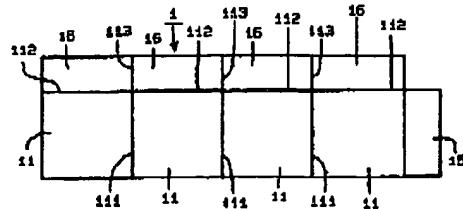
(7)

特開平8-11865

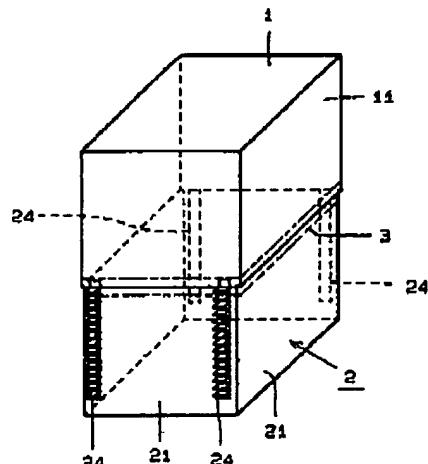
【図8】



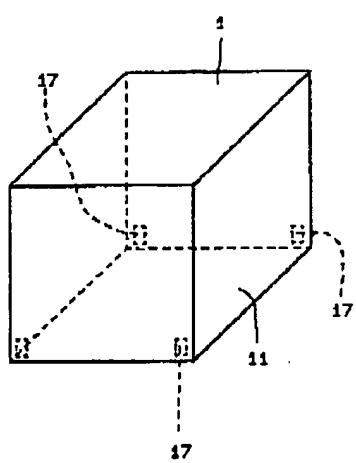
【図9】



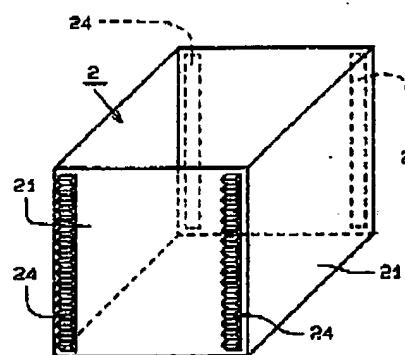
【図12】



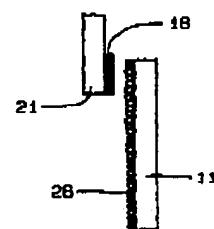
【図13】



【図14】



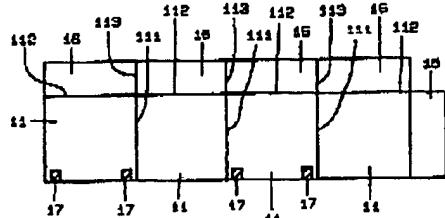
【図21】



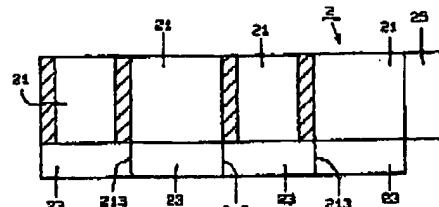
特開平8-11865

(8)

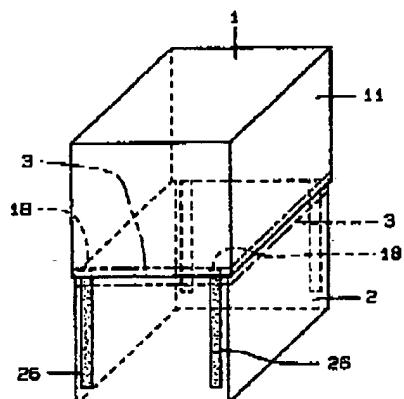
〔図16〕



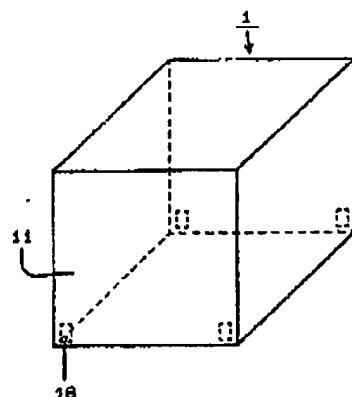
〔図17〕



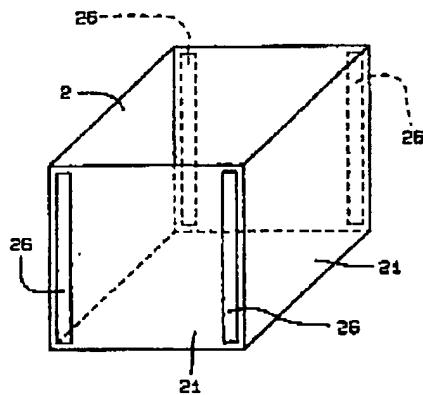
〔図18〕



〔図19〕



〔图20〕



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08011865 A

(43) Date of publication of application: 16.01.96

(51) Int. Cl

B65D 5/355
B65D 21/08

(21) Application number: 08152040

(71) Applicant: SEKISUI CHEM CO LTD

(22) Date of filing: 04.07.94

(72) Inventor: YAMANO KOICHI

(54) PACKAGING CASE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a packaging case whose height can be changed according to the heights of commodities to be packed therein.

CONSTITUTION: A packaging case is provided with a lid case 1 which opens downwards and a case body 2 which opens upwards and one opening part of either lid case 1 or case body 2 is slidably fitted into the other opening part in the depth direction and a two-sided pressure-sensitive adhesive tape 14 is attached to either outer surface of a side wall 11 near the one opening part or inner surface of a side wall of the other opening part.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

